

単元名:次世代の住環境を考える									
科目名	韓国語	作成日	-		作成者	プロジェクトメンバー			
学年／年次	-	クラス人数	-		使用教科書と課				
話題分野	住まい	言語レベル	4		必要時間数	8時間			
Ⅰ 単元目標									
子育てや高齢者にとって優しい次世代の住環境とはどういうものか、日韓の高齢化社会と少子化問題を「住まい」という観点から韓国の交流校とテレビ会議を行い、ともに考えることができる。				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
			わかる						
			できる						
			つながる						
言語領域			文化領域			グローバル社会領域			
◆日韓の住宅問題、高齢化社会、少子化問題や子育て支援に関するポスターを作成することができる。 ◆ポスターの内容をテレビ会議を通して、口頭で発表し質疑応答することができる。			◆日韓における、住居の種類、家の周りの環境、家族の集う場所、近所の方との付き合い方について、調査・比較することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。			◆少子化と高齢化社会について考えることができる。(知識理解) ◆より良い住まいの環境について内容を考え、ポスター発表の仕方を工夫する。(情報活用) ◆パソコンやプロジェクター等のIT機器を活用する。(情報活用) ◆他のグループが作ったポスターを見たり、発表を聞き、自分のグループと比較する。(高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。			
コミュニケーション能力指標	【住まい】 3-d. 住居やその周辺環境として望ましい条件は何かについて、話しあうことができる。 4-b. 将来どんな家に住みたいかについて、書いたり話しあったりできる。 4-d. 人にとって住居がどのような意味をもっているのかについて、話しあうことができる。 4-e. 日本と相手の国の住宅問題に関する記事を読み、その解決方法について、話しあうことができる。 4-f. 地域の自然や気候、生活形態と住環境の関係について調べ、自分なりの意見を述べることができる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。								

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミュニケーション活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆ネットや書籍で日韓の住宅問題、高齢化社会、少子化問題や子育て支援について書かれた文章を集め、グループで手分けして内容のポイントを箇条書きにし表を作成する。【4-d,e】 ◆グループ内で、こうなってほしいという理想の住まいのあり方について話し合う。【4-b,f/3-d】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆日韓や他地域の住宅問題について調べ、類似点・相違点を比較考察し、表にまとめる(情報量、内容の豊かさ・的確さ・深さなど) ◆理想的な住環境のマップを作る(表記の正確さ、楽しさ、面白さ、工夫、創造性など)
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
<場面状況> ○大学の韓国語のクラスでは、世界でもトップレベルにある日韓の高齢化社会・少子化問題を、「住まい」という観点から考えるために、韓国の学校と、高齢者にとってあるいは子どもや子育てをする大人にとってより良い住環境とはどのようなものであるか、テレビ会議で意見を交換し合うことになった。 <活動の流れ> まず、住まいという観点から、日韓それぞれの子育て、高齢者の暮らし、介護などについて現状を調べ、ポイントをまとめる。次に、どのような環境で子育てをしたいか、自分たちの親世代の介護や祖父母の住環境とはどのようなものが望ましいか、それを阻んでいる条件は何かなどをグループで話し合い、マップにする。 日韓の住宅問題について書かれてあるものや先進的な取り組みをしているものを書籍やネットで調べ、情報を収集する。理想的な次世代の住環境とは、どのようなものか話し合い、ポイントをリストアップする。 準備した情報や資料を韓国語で整理し、韓国の交流校と連携をとって、テレビ会議を行う。 ヒント🔑 ◆テレビ会議後、それぞれの発表や意見交換の結果をレポートやポスターにして、より多くの人に紹介することもできる。	
<目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)> ◆日韓の住宅問題、高齢化社会、少子化問題や子育て支援について調査・比較し、ポスターを作成する。(表やイラスト、写真等を使っているなどのポスターの見やすさ、わかりやすさ、面白さ・独創性など) ◆作成したポスターを見せながら、口頭で発表し、交流校とテレビ会議を行う。(声が大きい・発音が正しいなどの聞き取りやすさ、発表の仕方や編集の創意工夫度など)	
<使用教材・教具> インターネット、パソコン、プロジェクター、模造紙、画材	
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋
ネット、書籍、韓国の交流校	美術(ポスター)、情報処理(インターネット・パソコンの活用、機器の操作・編集)、家庭科(生活科学)